

国立大学法人
浜松医科大学
概要 2015

National University Corporation
Hamamatsu University
School of Medicine

CONTENTS

- 1 建学の理念等
- 2 学長あいさつ
- 3 年度計画重点事項
- 5 教育目標
- 6 沿 革
- 9 組 織
- 10 歴代学長・役員等
- 14 職員、学生等
- 20 国際交流
- 21 学内共同教育研究施設
- 24 附属図書館
- 25 地域・社会貢献
- 27 医学部附属病院
- 33 外部資金受入れ状況
- 34 財務、土地及び建物
- 35 配置図
- 36 案内図

建 学 の 理 念

第1に優れた臨床医と独創力に富む研究者を養成し、第2に独創的研究並びに新しい医療技術の開発を推進し、第3に患者第一主義の診療を実践して地域医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康と福祉に貢献する。

目 的 及 び 使 命

浜松医科大学は、医学・看護学の教育及び研究の機関として、最新の理論並びに応用を教授研究し、高度の知識・技術及び豊かな人間性と医の倫理を身に付けた優れた臨床医・看護専門職並びに医学研究者・看護学研究者を養成することを目的とし、医学及び看護学の進展に寄与し、地域医学・医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康増進並びに福祉に貢献することを使命とする。

学 章 ・ シ ン ボ ル マ ー ク



学 章

静岡県、日本の象徴である富士山をモチーフにデザインされた学章は、開学以来、親しまれ、使用されています。
富士に医大、下部に大学の大、湾曲部は遠州灘と波、突起部は浜名湖をイメージしています。



シンボルマーク

本学のローマ字での頭文字「h」をデザイン化。
水色部分が遠州灘（下部分の曲線）、浜名湖の水面、浜松から望む富士山（右上の突起）で浜松の特色、全体の曲線が生命の源である自然な水のゆらぎ、医療の重要キーワード「生命」を表現しています。
また、オレンジ色の丸と水色部分の両方を合わせて全体を見ると、元気、健康、躍動を表現した人（丸を頭、水色の両端を手に見立てる）に見えます。
人類の健康と福祉に貢献することをイメージしています。

平 成 2 7 年 度 学 事 予 定

4月6日	入学式
5月15～16日	滋賀医科大学との交流会
6月7日	開学記念日
7月下旬～8月	夏季休業
10月1日	大学院医学系研究科（博士課程）入学式
10月22日	解剖体慰霊祭
10月31日～11月1日	医大祭
12月下旬～1月上旬	冬季休業
1月16～17日	大学入試センター試験
2月25～26日	前期日程入学試験
3月12日	後期日程入学試験
3月14日	学位記授与式

ごあいさつ

本学は、単科医科大学として社会に貢献し、かつ、世界に光医学を中心とした研究成果を発信する特色のある大学を目標として頑張っています。

教育においては、勉学のためのよき環境づくりに努め、きめ細かな気配りを実践し、学生の国家試験合格率は100%と好成績をあげています。

平成28年度からは、国際認証評価に対応した新カリキュラムを実施します。近隣の自治体と協力して総合診療医の養成を意欲的に進め、日本のモデルとなることを目指しています。

研究においては、光技術を応用し、光トモグラフィ（光CT）及び分子イメージングによる疾病の診断、電子顕微鏡で生物を生きたまま観察する技術の開発、ものづくりの浜松で企業との産学連携を推進して医療機器の開発を進めるなど、世界に素晴らしい研究成果を発信しています。また、ゲノム関連の研究等でも、若い研究者達が世界に羽ばたけるよう先進的な機器を導入し、環境を整備しています。

診療においては、高度医療、高次救急医療、難病医療等について地域連携を図りながら最新の医療を提供し、地域の福祉に尽力しています。若い医師たちを教育すると同時に、患者第一主義の診療を実践しています。患者さんは、花と緑の多い癒される環境に囲まれて療養生活を送られています。

本学は、教育・研究・診療の全てにおいて社会に貢献していきますので、皆様のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。



国立大学法人
浜松医科大学長

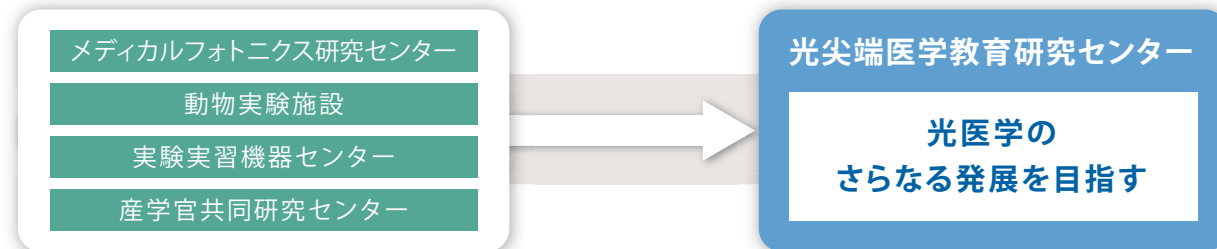
中村 達
NAKAMURA Satoshi

平成27年度 年度計画重点事項

(第二期中期目標期間・平成22年度から平成27年度)

大学機能強化のための環境整備

光医学教育研究拠点形成事業：光先端医学教育研究センターの設置

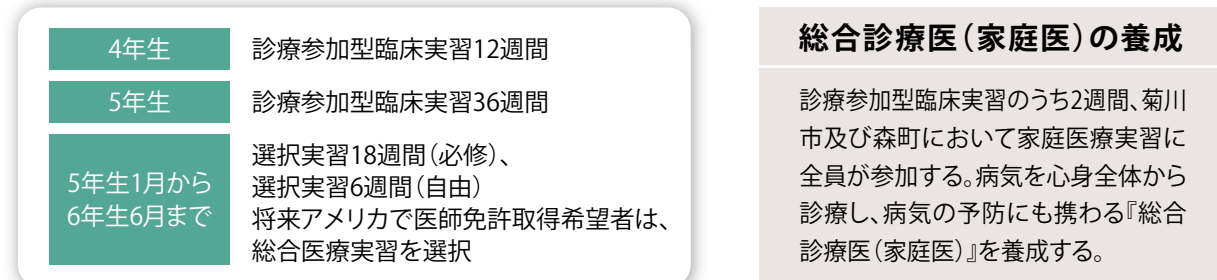


重点的事業

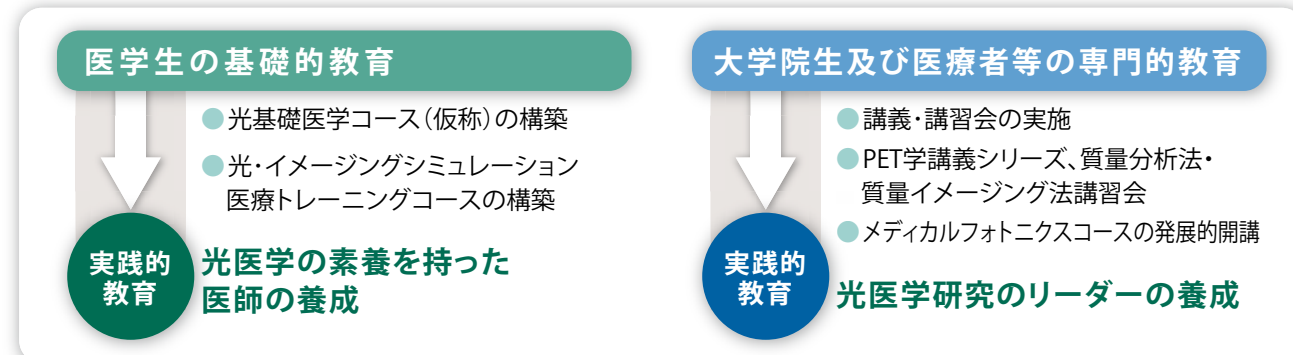
- 研究棟7・9階共同利用実験室等の改修
- 最先端設備の整備
- 光トモグラフィの研究者を招聘

国際基準に対応した新カリキュラムの策定

平成28年開始：臨床実習(必修66週)、総合医療実習(自由6週)合計72週



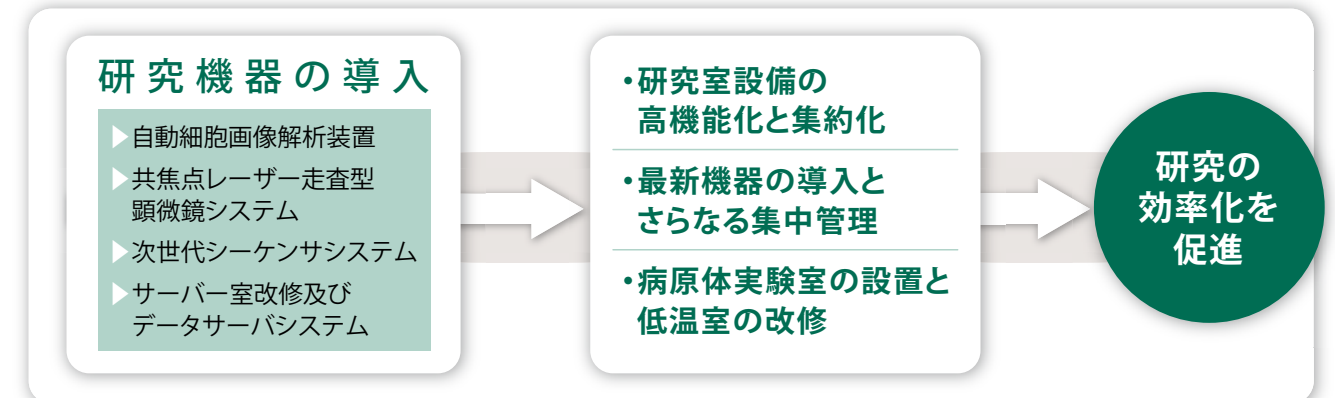
光医学の基礎授業科目の構築及び講義・講習会等の実施



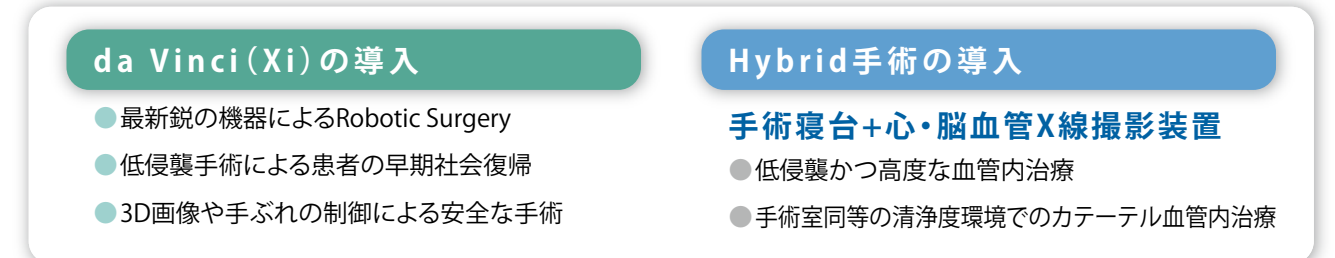
施設及び設備の環境整備

- 教育環境の重点整備……教育実習室設備(映像システム及び電動ベット)
- 施設老朽化対策事業……研究棟渡り廊下改修

研究環境の整備



高度医療の提供



初期臨床研修プログラムの改善

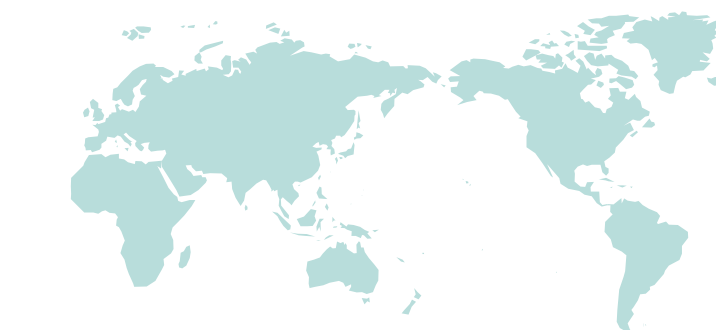
- 新専門医制度と関連した初期臨床研修プログラム
- 研修医ラウンジと学習環境の整備
- 初期臨床研修医の待遇改善

高次救急医療の充実

- 各診療科との連携強化
- 高次症例の積極的な受入れ
- 救急後方病床の確保
- スーパーICUの導入

第三期(平成28年度～)

地域企業と連携し光医学で日本・世界をリードする!



光技術等を用いた先進的医学研究を進展させ、国際的な研究拠点をめざし、産学連携と日本のものづくりの基盤である製造業が盛んな地域特性を活かした医療技術の開発・実用化を推進する。

- 地域医療に貢献する医療人の養成
- 国際基準に対応した医学教育の構築
- 横断的な研究推進により、光最先端医療に関する新たな学際的研究分野・研究シーズを創出
- 先端のイメージング医療機器を活用する地域の医療人や医療関係企業人の輩出
- 高度医療の提供
- 災害医療の充実

教育目標

医学部医学科

自学自習の態度・研究心の育成、人間性・倫理性の養成、国際性の習得およびプロフェッショナリズム(コミュニケーション能力、倫理観等)を身につけた人材の育成を目指しています。

医学部看護学科

生命の尊厳を尊重する倫理観と豊かな人間性、科学的知識に裏付けられた看護実践能力をもつ看護専門職の育成を目指しています。

大学院医学系研究科医学専攻(博士課程)

1. 研究者としての倫理と誠実な人間性を養う。
2. 国際的な視野を持ち、豊かな知性と教養を身につける。
3. 問題発見能力を身につける。
4. 医学・医療に関する高度の専門的知識と技術に基づく問題解決能力を身につける。
5. 学術論文の作成能力を身につける。
6. 生涯にわたり自立して学問を探究する姿勢を養う。

大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程)

1. 特定の専門分野での看護実践の場における研究活動を通じて、高度な専門的知識と技術の向上・開発を図る能力を修得する。
2. 看護学教育と実践活動の場において、専門性の高い教育的機能を果たす能力を修得する。
3. 看護実践を通じて、専門性と倫理観に基づくケアの提供と研究を行える能力を修得する。
4. 看護の専門領域に関わる新しい課題にチャレンジできる高度な能力を修得する。
5. 文化的、社会的背景を考慮して健康問題を捉え、国内外で活躍できる高度な能力を修得する。



沿革

昭和48年	9月10日	静岡大学国立医科大学創設準備室設置
昭和49年	6月 7日	浜松医科大学設置 医学部医学科、附属図書館及び事務局設置
		医学部に8講座(解剖学第一、生理学第一、生化学第一、病理学第一、微生物学、内科学第一、外科学第一、放射線医学)、9学科目(倫理学、心理学、法学、数学、物理学、化学、生物学、英語、ドイツ語)開設
		7月 4日 医学部医学科第1回入学式
昭和50年	3月29日	講義実習棟竣工
	4月 1日	附属病院創設準備室設置 医学部に7講座(解剖学第二、生理学第二、病理学第二、薬理学、内科学第二、産婦人科学、小児科学)開設
昭和51年	3月25日	福利施設棟竣工
	3月27日	体育館竣工
	5月10日	医学部に7講座(衛生学、公衆衛生学、寄生虫学、法医学、外科学第二、整形外科学、眼科学)開設
	12月11日	第1回解剖体慰霊祭
昭和52年	3月25日	基礎臨床研究棟竣工
	3月30日	RI動物実験施設、管理棟及び臨床講義棟竣工
	4月18日	医学部附属病院設置
		医学部に6講座(内科学第三、精神神経医学、皮膚科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、麻酔学)開設
		医学部附属病院に15診療科(第一内科、第二内科、精神科神経科、小児科、第一外科、第二外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産科婦人科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科)設置
		医学部附属病院中央診療施設等(検査部、放射線部、手術部、材料部)設置
		薬剤部・看護部設置
	11月28日	医学部附属病院の一部が竣工し、外来診療を開始
	12月20日	医学部附属病院竣工
昭和53年	3月30日	廃棄物廃水処理施設竣工
	4月 1日	医学部に2講座(生化学第二、脳神経外科学)開設
		医学部附属病院に2診療科(第三内科、脳神経外科)設置
		廃棄物廃水処理センター設置
昭和54年	5月25日	慰霊塔除幕式
	11月15日	附属図書館竣工
昭和54年	3月30日	プール及び福利厚生施設 職員会館(半田山会館)竣工
	4月 1日	医学部附属動物実験施設設置
	12月 8日	武道館竣工
昭和55年	3月26日	医学部医学科第1回卒業式
	4月 1日	大学院医学研究科博士課程(形態系専攻、生理系専攻、生化系専攻、生態系専攻)設置
	4月26日	大学院医学研究科博士課程第1回入学式
昭和56年	4月 1日	医学部附属実験実習機器センター設置

昭和59年	2月18日	開学10周年記念式典
	3月26日	大学院医学研究科博士課程 第1回学位記授与式
	4月 1日	医学部に講座(歯科口腔外科学)開設
昭和60年	5月17日	保健管理センター設置
昭和62年	12月 5日	医学部附属病院開院10周年記念式典
昭和63年	5月25日	医学部附属病院中央診療施設等(病理部)設置
	10月20日	基礎・臨床研究棟別館竣工
平成元年	6月28日	医学部に講座(臨床検査医学)開設
	10月 1日	医学部にメディカルホトリクス講座(寄附講座)開設
平成 2年	3月20日	MRI-CT装置棟竣工
	6月 8日	医学部に学科目(日本語・日本事情)開設
		麻酔学講座を麻酔・蘇生学講座に名称変更 医学部附属病院麻酔科を麻酔科蘇生科に名称変更
平成 3年	4月12日	量子医学研究センター設置
		医学部附属病院中央診療施設等(救急部)設置
平成 5年	4月 1日	医学部附属病院中央診療施設等(集中治療部)設置
	6月17日	廃棄物廃水処理センターを医療廃棄物処理センターに名称変更
	10月 1日	医学部に臨床薬理学講座(寄附講座)開設
平成 6年	5月20日	医学部附属病院中央診療施設等(輸血部)設置
	6月 7日	開学20周年記念式典
平成 7年	4月 1日	医学部看護学科設置
		医学部に学科目(生命科学)開設
	4月25日	医学部看護学科第1回入学式
	6月 7日	医学部看護学科設置記念式典
平成 8年	9月27日	情報処理センター設置
	3月25日	国際交流会館竣工
	4月 1日	医学部看護学科に3講座(基礎看護学、臨床看護学、地域看護学)開設
平成 9年		医学部に学科目(情報科学)開設
		医学部附属病院中央診療施設等(医療情報部)設置
	4月 1日	医学部附属病院中央診療施設等(光学医療診療部)設置
	7月28日	看護学科棟の一部が竣工
平成10年	11月27日	医学部附属病院開院20周年記念式典
	2月16日	看護学科棟竣工
	3月30日	弓道場竣工
	4月 1日	医学部医学科に講座(臨床薬理学)開設
		医学部附属病院中央診療施設等(血液浄化療法部)設置
		医学部附属病院に2診療科(循環器科、心臓血管外科)設置
平成11年	3月26日	医学部看護学科第1回学位記授与式
	4月 1日	大学院医学研究科を大学院医学系研究科に名称変更し、修士課程(看護学専攻)設置

平成11年	4月 1日	医学部附属病院中央診療施設等 (リハビリテーション部)設置	
	4月26日	大学院医学系研究科修士課程第1回入学式	
	12月24日	光量子医学研究センター竣工	
平成12年	4月 1日	事務局教務部に入学主幹、 総務部に情報企画室設置	
平成13年	3月27日	大学院医学系研究科修士課程第1回学位記 授与式	
	4月 1日	医学部附属病院中央診療施設等 (治験管理センター)設置 光量子医学研究センター改組	
	12月18日	探索的臨床研究施設竣工	
平成14年	4月 1日	医学部医学科に講座 (救急医学)開設 医学部附属病院中央診療施設等 (周産母子センター)設置	
	9月 1日	医学部附属病院中央診療施設等 (遺伝子診療部)設置	
	10月 1日	医学部医学科第2年次後期編入学第1回入学式	
	11月 1日	医学部附属病院に診療科 (リハビリテーション科)設置	
平成15年	3月 1日	医学部附属病院新生児特定集中治療室 (NICU)開設	
	4月 1日	医学部附属病院中央診療施設等 (医療福祉支援センター)設置	
	9月 3日	21世紀COEプログラムに 「メディカルフォトニクス」が採択	
平成16年	4月 1日	国立大学法人浜松医科大学設立 大学院医学系研究科博士課程の専攻を、光 先端医学、高次機能医学、病態医学、予防・ 防御医学に変更 医学部附属病院中央診療施設の医療福祉 支援センター及び治験管理センターを医学部 附属病院の医療福祉支援センター及び臨床 研究管理センターに改組 医学部附属病院に臨床研修センター及び医 療安全管理室設置 事務局総務部庶務課を総務課と人事課に改 組、業務部の医事課を医療サービス課に改め 病院管理室を設置、教務部を学務部に改め 入学主幹を廃し入試課を設置	
	11月13日	開学30周年記念式典	
平成17年	4月 1日	医学部一般教育等の12学科目 (倫理学、心理学、歴史学、社会学、数学、物 理学、化学、生物学、英語、日本語・日本事情、 生命科学、情報科学)を総合人間科学講座に 改組 医学部医学科の解剖学第一講座及び解剖 学第二講座を解剖学講座に改組 医学部医学科の衛生学講座及び公衆衛生 学講座を健康社会医学講座に改組 医学部附属病院中央診療施設 (栄養部)設置 事務局業務部を病院部に改め、施設課を 総務部に編入	
	5月25日	医学部附属病院中央診療施設 (化学療法部)設置 医学部附属病院に外来化学療法センター設置	

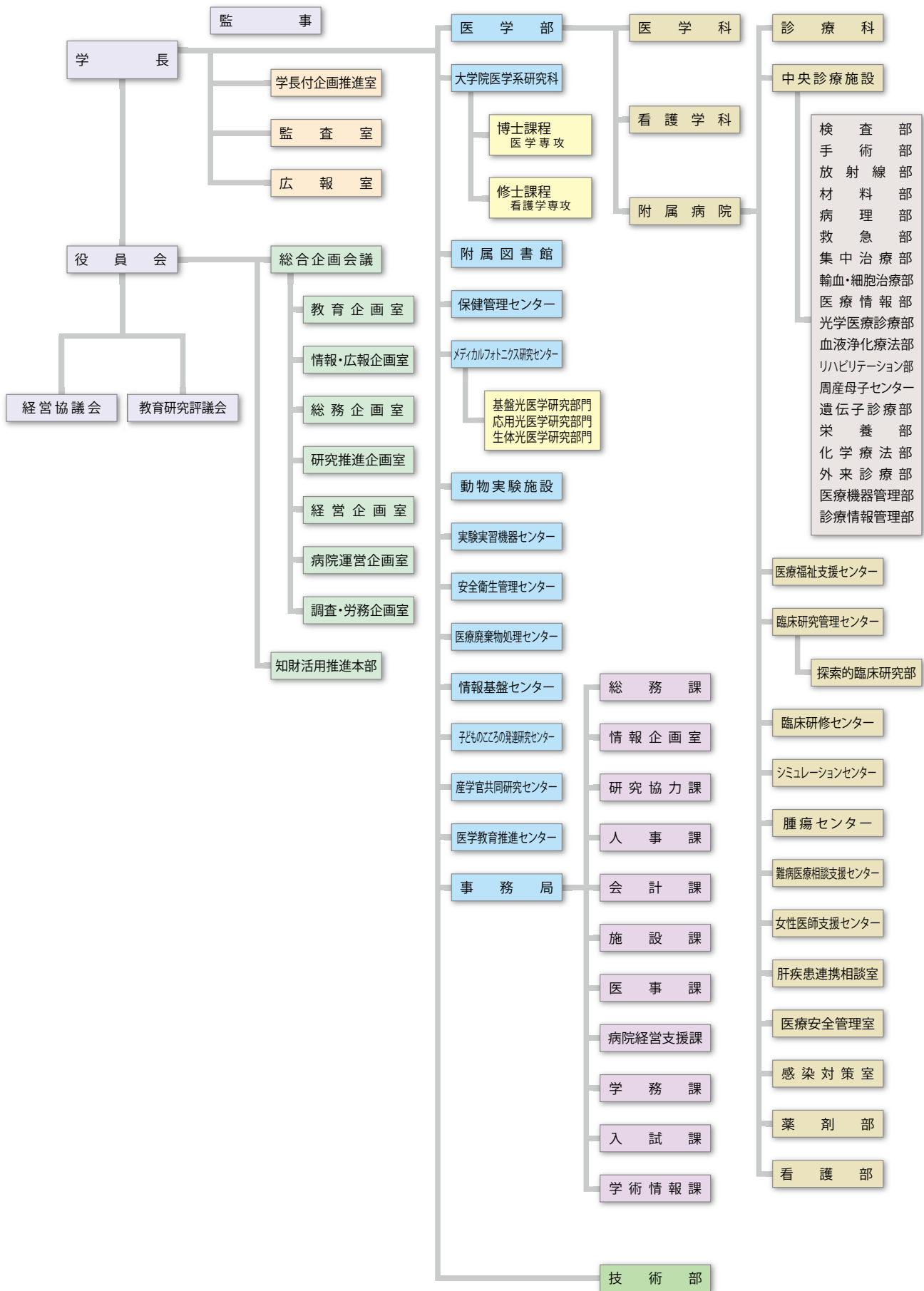
平成17年	7月 1日	医学部附属病院新生児強化治療室 (GCU)開設
平成18年	4月 1日	医学部医学科の微生物学講座及び寄生虫 学講座を感染症学講座に改組 子どものこころの発達研究センター設置 医学部附属病院に診療科 (心療内科)設置 医学部附属病院中央診療施設 (外来診療部)設置
	7月 1日	監査室設置 事務局総務部総務課に研究協力室設置
	10月 1日	医学部附属病院に診療科 (臨床薬理内科)設置 医学部附属病院に腫瘍センター設置
平成19年	1月 1日	分子イメージング先端研究センター設置 事務局病院部に 病院再整備推進事務室設置
	1月23日	医学部附属病院新病棟着工
	2月 1日	医学部附属病院に診療科 (形成外科)設置
	4月 1日	医学部に分子診断学講座 (寄附講座)開設 医学部附属病院中央診療施設 (輸血部)を(輸血・細胞治療部)に改める 医学部附属病院に 難病医療相談支援センター設置
	5月 7日	医大保育所さりり開所
	7月 1日	医学部附属病院中央診療施設 (医療機器管理部)設置
平成20年	10月 1日	がん教育研究センター設置 医学部に地域医療学講座 (寄附講座)開設
	11月28日	医学部附属病院開院30周年記念式典
平成20年	1月 1日	分子イメージング先端研究センターに 分子解剖学研究部門開設
	4月 1日	助産学専攻科設置
平成21年	4月 1日	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合 小児発達学研究科に参加 事務局部制を廃止し、研究協力課及び 病院経営支援課設置
	6月29日	医学部附属病院新病棟竣工
平成22年	4月 1日	医学部附属病院中央診療施設 (診療情報管理部)設置
	5月 1日	医学部に児童青年期精神医学講座 (寄附講座)開設
平成23年	4月 1日	光量子医学研究センター及び分子イメージ ング先端研究センターを改組・統合し、メディカル フォトニクス研究センター設置 産学官共同研究センター (PET-CT棟、サイクロترون棟)設置 医学部に臨床医学教育学講座 (寄附講座)開設
	6月 9日	医学部附属病院に診療科 (病理診断科)設置
平成24年	1月 1日	医学部に地域周産期医療学講座 (寄附講座)開設

平成24年	4月 1日	医学部医学科の生理学第一講座を神経生理 学講座、生理学第二講座を医生理学講座、生 化学第一講座を分子生物学講座、生化学第 二講座を医化学講座、病理学第一講座を腫 瘍病理学講座、病理学第二講座を再生・感染 病理学講座、精神神経医学講座を精神医学 講座、耳鼻咽喉科学講座を耳鼻咽喉科・頭頸 部外科学講座、救急医学講座を救急災害医 学講座に名称変更 大学院医学系研究科博士課程の専攻 (光先端医学、高次機能医学、病態医学、 予防・防御医学)を医学専攻に改組 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小 児発達学研究科を大阪大学・金沢大学・浜松 医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発 達学研究科に変更 医学教育推進センター設置 医学部附属病院にシミュレーションセンター設置 事務局の病院再整備推進事務室廃止
	5月28日	医学部医学科に講座 (臨床腫瘍学)開設
	6月 1日	医学部に産婦人科家庭医療学講座 (寄附講座)開設
	8月 1日	情報処理センターを情報基盤センターに改組 広報室設置
平成25年	4月 1日	医学部附属病院に診療科 (小児外科)設置 医学部附属病院に肝疾患連携相談室及び 感染対策室設置
	11月 1日	医学部に地域家庭医療学講座 (寄附講座)開設
平成26年	2月 1日	医学部附属病院に 女性医師支援センター設置
	4月 1日	学長付企画推進室設置
	7月10日	学章及びシンボルマークを制定
	11月22日	開学40周年記念式典



組 織

国立大学法人浜松医科大学



歴代学長・役員等

歴代学長	吉 利 和	昭和49年 6月 7日～昭和61年 3月31日	山 崎 昇	平成 8年 5月 1日～平成12年 4月30日
	中井 準之助	昭和61年 4月 1日～平成 2年 3月31日	寺尾 俊彦	平成12年 5月 1日～平成22年 3月31日
	川 島 吉 良	平成 2年 5月 1日～平成 8年 4月30日	中 村 達	平成22年 4月 1日～

学 長	中村 達
-----	------

理事・副学長	
教育・国際交流担当	小出 幸夫
評価・労務・安全管理担当	鈴木 修

理事・事務局長	
財務担当	前田 広

理 事	
経営・産学連携担当	非常勤 晝馬 明

経営協議会	
学 長	中村 達
理 事	鈴木 修
理 事	前田 広
理 事	晝馬 明
副学長	(兼)教授 今野 弘之
浜松市文化振興財団代表理事	伊藤 修二
大正大学理事長特別補佐・質保証推進室長	上杉 道世
医療研修推進財団特別顧問	猿田 享男
静岡県医師会会長	篠原 彰
東京大学・名古屋大学名誉教授	永井 美之
浜松信用金庫理事長	御室健一郎
三重県立看護大学名誉教授	村本 淳子

監 事	
	西山 仁
	非常勤 津田 紘

副学長	
情報・図書館担当(附属図書館長)	(兼)教授 針山 孝彦
研究担当(メディカルフォトンクス研究センター長)	(兼)教授 蓑島 伸生
病院担当(病院長)	(兼)教授 今野 弘之

学長特別補佐	
国際認証カリキュラム担当	(兼)教授 宮嶋 裕明
広報・社会貢献担当	(兼)教授 山本 清二

教育研究評議会	
学 長	中村 達
理 事	小出 幸夫
理 事	鈴木 修
理 事	前田 広
附属図書館長	(兼)教授 針山 孝彦
保健管理センター長	(兼)教授 宮嶋 裕明
メディカルフォトンクス研究センター長	(兼)教授 蓑島 伸生
動物実験施設長	(兼)教授 渡邊 裕司
実験実習機器センター長	(兼)教授 福田 敦夫
副学長	(兼)教授 今野 弘之
総合人間科学講座(物理学)	教授 笹倉 裕之
医生理学講座	教授 浦野 哲盟
薬理学講座	教授 梅村 和夫
産婦人科学講座	教授 金山 尚裕
基礎看護学講座	教授 永田 年

医 学 部

医学科／基礎講座		
総合人間科学講座(倫理学)	教授	森下 直貴
総合人間科学講座(心理学)	准教授	田中 悟志
総合人間科学講座(法学)	教授	大磯義一郎
総合人間科学講座(数学)	教授	古屋 淳
総合人間科学講座(物理学)	教授	笹倉 裕之
総合人間科学講座(化学)	教授	藤本 忠蔵
総合人間科学講座(生物学)	教授	針山 孝彦
総合人間科学講座(英語)	教授	中安美奈子
総合人間科学講座(情報医学)	教授	谷 重喜
解剖学講座(神経機能学分野)	教授	佐藤 康二
解剖学講座(細胞生物学分野)	教授	瀬藤 光利
神経生理学講座	教授	福田 敦夫
医生理学講座	教授	浦野 哲盟
分子生物学講座	教授	北川 雅敏
医化学講座	教授	三浦 直行
腫瘍病理学講座	教授	相村 春彦
再生・感染病理学講座	教授	岩下 寿秀
薬理学講座	教授	梅村 和夫
感染症学講座(感染制御学分野)	教授	堀井 俊伸
感染症学講座(ウイルス学・寄生虫学分野)	教授	鈴木 哲朗
健康社会医学講座	教授	尾島 俊之
法医学講座	教授	渡部加奈子

看護学科		
基礎看護学講座	教授	渡邊 泰秀
	教授	三浦 克敏
	教授	永田 年
臨床看護学講座	教授	片山 はるみ
	教授	森 恵子
	教授	佐藤 直美
	教授	武田江里子
地域看護学講座	教授	安田 孝子
	教授	巽 あさみ
	教授	鈴木 みずえ

医学科／臨床講座		
内科学第一講座 (消化器・腎臓・神経内科学分野)	教授	宮嶋 裕明
内科学第二講座 (内分泌・呼吸・肝臓内科学分野)	教授	須田 隆文
内科学第三講座 (循環器・血液・免疫リウマチ内科学分野)	教授	林 秀晴
精神医学講座	教授	森 則夫
外科学第一講座 (心臓血管・呼吸器・一般(内視鏡)・乳腺外科学分野)	教授	椎谷 紀彦
外科学第二講座 (消化器・血管外科学分野)	教授	今野 弘之
脳神経外科学講座	教授	難波 宏樹
整形外科学講座	教授	松山 幸弘
皮膚科学講座	教授	戸倉 新樹
泌尿器科学講座	教授	大園誠一郎
眼科学講座	教授	堀田 喜裕
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	教授	峯田 周幸
放射線診断学・核医学講座	教授	阪原 晴海
放射線腫瘍学講座	教授	中村 和正
麻酔・蘇生学講座	教授	中島 芳樹
産婦人科学講座	教授	金山 尚裕
小児科学講座	教授	緒方 勤
歯科口腔外科学講座	教授	加藤 文度
臨床検査医学講座	教授	前川 真人
臨床薬理学講座	教授	渡邊 裕司
救急災害医学講座	教授	吉野 篤人
臨床腫瘍学講座	特任准教授	勝見 章

寄附講座		
地域医療学講座	特任教授	山岡 泰治
児童青年期精神医学講座	特任教授	杉山登志郎
臨床医学教育学講座	特任准教授	五十嵐 寛
地域周産期医療学講座	特任准教授	飯嶋 重雄
産婦人科家庭医療学講座	特任教授	杉村 基
地域家庭医療学講座	特任教授	沖 隆
	特任教授	井上真智子

附属図書館		
館 長	(兼)教授	針山 孝彦

保健管理センター		
センター長	(兼)教授	宮嶋 裕明

メディカルフォトンクス研究センター		
センター長	(兼)教授	蓑島 伸生
基盤光医学研究部門	教授	蓑島 伸生
	教授	瀬藤 光利
応用光医学研究部門 (寄附研究室)	准教授	矢尾 育子
	教授	間賀田泰寛
	教授	山本 清二
生体光医学研究部門	特任教授	岡崎 茂俊
	教授	尾内 康臣
	教授	星 詳子

動物実験施設		
施設長	(兼)教授	渡邊 裕司

実験実習機器センター		
センター長	(兼)教授	福田 敦夫

安全衛生管理センター		
センター長	(兼)理事	鈴木 修

医療廃棄物処理センター		
センター長	(兼)教授	藤本 忠蔵

情報基盤センター		
センター長	(兼)教授	谷 重喜

子どものこころの発達研究センター		
センター長	(兼)教授	森 則夫
	教授	武井 教使

産学官共同研究センター		
センター長	(兼)教授	山本 清二

医学教育推進センター		
センター長	(兼)教授	梅村 和夫

学長付企画推進室		
室 長	伊藤一二三	

監査室		
室 長	黒柳 年弘	

広報室		
室 長	鈴木 厚子	

事務局		
事務局長	(兼)理事	前田 広
事務局次長(総務担当)	長谷川篤志	
事務局次長(病院担当)(兼)		
事務局次長(教育・国際交流担当)	山中 和之	
総務課長	大森 達郎	
情報企画室長(兼)		
研究協力課長	葛山 雅弘	
人事課長	大谷 理恵	
会計課長	坂本 和浩	
施設課長	向井 和人	
医事課長	前島 耕志	
病院経営支援課長	鈴木 康正	
学務課長	大木 清造	
入試課長	太田 正人	
学術情報課長	吉岡 文	

医学部附属病院

病院長

(兼)教授 今野 弘之

副病院長

教育・研修担当	(兼)教授 須田 隆文
運営・管理担当	(兼)教授 金山 尚裕
リスクマネジメント担当	(兼)教授 松山 幸弘
患者サービス担当	鈴木美恵子

診療科(科長)

一般内科	(兼)教授 今野 弘之
第一内科診療科群	教授 宮嶋 裕明
消化器内科	准教授 杉本 健
腎臓内科	講師 安田日出夫
神経内科	教授 宮嶋 裕明
第二内科診療科群	教授 須田 隆文
内分泌・代謝内科	講師 佐々木茂和
呼吸器内科	教授 須田 隆文
肝臓内科	病院講師 小林 良正
第三内科診療科群	教授 林 秀晴
循環器内科	教授 林 秀晴
血液内科	病院講師 小野 孝明
免疫・リウマチ内科	講師 小川 法良
精神科神経科	教授 森 則夫
小児科	教授 緒方 勤
第一外科診療科群	教授 椎谷 紀彦
心臓血管外科	教授 椎谷 紀彦
呼吸器外科	准教授 船井 和仁
乳腺外科	病院講師 小倉 廣之
一般外科 (内視鏡外科を含む)	講師 和田 英俊
第二外科診療科群	教授 今野 弘之
上部消化管外科	教授 今野 弘之
下部消化管外科	教授 今野 弘之
肝・胆・膵外科	講師 坂口 孝宣
血管外科	准教授 海野 直樹
脳神経外科	教授 難波 宏樹
整形外科	教授 松山 幸弘
皮膚科	教授 戸倉 新樹
泌尿器科	教授 大園誠一郎

眼科	教授 堀田 喜裕
耳鼻咽喉科	教授 峯田 周幸
産科婦人科	教授 金山 尚裕
放射線科診療科群	教授 阪原 晴海
放射線診断科	教授 阪原 晴海
放射線治療科	教授 中村 和正
麻酔科蘇生科	教授 中島 芳樹
歯科口腔外科	教授 加藤 文度
リハビリテーション科	病院教授 美津島 隆
形成外科	病院教授 深水 秀一
臨床薬理内科	教授 渡邊 裕司
病理診断科	病院教授 馬場 聡
小児外科	特任准教授 川原 央好

中央診療施設(部長・センター長)

検査部	教授 前川 真人
手術部	(兼)教授 今野 弘之
放射線部	教授 阪原 晴海
材料部	教授 椎谷 紀彦
病理部	病院教授 馬場 聡
救急部	教授 吉野 篤人
集中治療部	特任准教授 土井 松幸
輸血・細胞治療部	病院教授 竹下 明裕
医療情報部	教授 木村 通男
光学医療診療部	教授 峯田 周幸
血液浄化療法部	病院教授 加藤 明彦
リハビリテーション部	病院教授 美津島 隆
周産母子センター	病院教授 伊東 宏晃
遺伝子診療部	教授 緒方 勤

栄養部	病院教授 加藤 明彦
化学療法部	(兼)教授 今野 弘之
外来診療部	教授 大園誠一郎
医療機器管理部	教授 林 秀晴
診療情報管理部	教授 堀田 喜裕

医療福祉支援センター

センター長 (兼)特任教授 小林 利彦

臨床研究管理センター

センター長 (兼)教授 渡邊 裕司

臨床研修センター

センター長 (兼)教授 須田 隆文

シミュレーションセンター

センター長 (兼)特任准教授 五十嵐 寛

腫瘍センター

センター長 (兼)教授 今野 弘之

難病医療相談支援センター

センター長 (兼)教授 宮嶋 裕明

女性医師支援センター

センター長 (兼)教授 金山 尚裕

肝疾患連携相談室

室 長 (兼)病院講師 小林 良正

医療安全管理室

室 長 (兼)教授 松山 幸弘

感染対策室

室 長 (兼)教授 前川 真人

薬剤部

部 長 (兼)教授 川上 純一

看護部

部 長 鈴木美恵子

職員、学生等

職員数

区 分		学長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	小計	事務・技術職員等	合計
事務局等	男	1	4	2					7	97	104
	女									47	47
医学部	男				47 (4)	25 (3)	2 (1)	69 (15)	143 (23)	7	150 (23)
	女				10 (1)	11 (1)	1	23 (2)	45 (4)	4	49 (4)
附属病院	男				3 (1)	11 (2)	37 (2)	40	91 (5)	159	250 (5)
	女						3 (1)	6 (1)	9 (2)	656	665 (2)
保健管理センター	男						1		1		1
	女									1	1
メディカルフォトニクス研究センター	男				5 (1)			5 (3)	10 (4)		10 (4)
	女				1	1		1	3		3
動物実験施設	男					1		1	2	2	4
	女										
実験実習機器センター	男									9	9
	女					1			1	4	5
医療廃棄物処理センター	男									2	2
	女									1	1
子どものこころの発達研究センター	男				1	3 (3)	1 (1)	4 (4)	9 (8)		9 (8)
	女							2 (2)	2 (2)		2 (2)
産学官共同研究センター	男					1			1		1
	女										
知財活用推進本部	男							1 (1)	1 (1)		1 (1)
	女										
合 計	男	1	4	2	56 (6)	41 (8)	41 (4)	120 (23)	265 (41)	276	541 (41)
	女				11 (1)	13 (1)	4 (1)	32 (5)	60 (8)	713	773 (8)
	合計	1	4	2	67 (7)	54 (9)	45 (5)	152 (28)	325 (49)	989	1,314 (49)

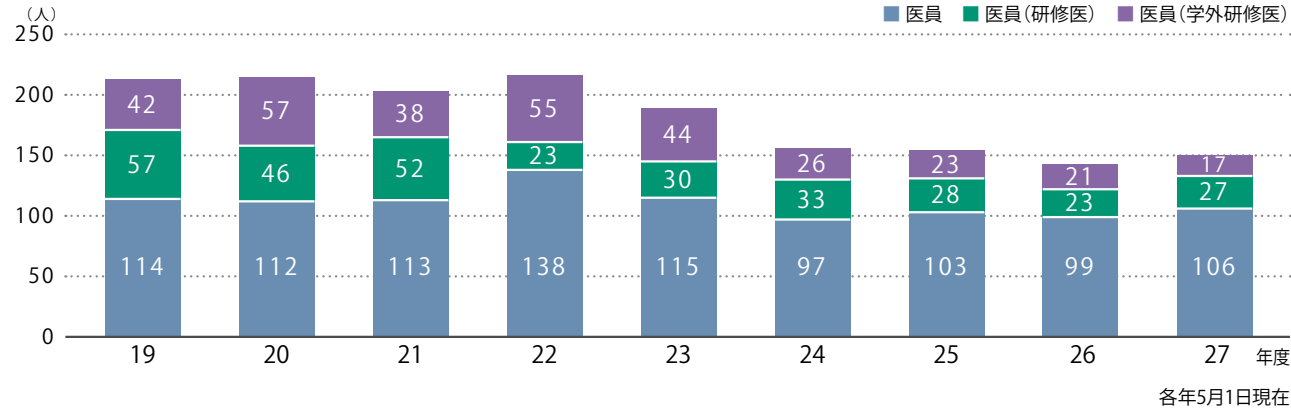
()内は特任教員を内数で示す

平成27年5月1日現在

区 分	医 員	医員(研修医)	合 計
男	62	17	79
女	44	10	54
合 計	106	27	133

平成27年5月1日現在

医員及び医員(研修医)の推移



医学部

医学科

高度の知識・技術及び豊かな人間性を身につけた臨床医並びに医学研究者を養成し、医学・医療の発展と人類の健康増進並びに福祉に貢献することを目的としています。

建学の理念に基づき、これまで多くの優れた臨床医を養成して静岡県はもとより全国各地の医療に貢献しつつ、最先端の研究も行っています。世界でも先駆的な研究の一例を挙げると、光を利用してがんを治療したり、光を用いて人体の機能を解析する新技術の開発があり、これの実践のための特別な研究センターを設けています。

また、卒業生は臨床医、医学研究者、医学教育者のみならず、産業医、医療福祉行政者などとしても活躍しており、活動分野は多岐にわたっています。



看護学科

看護の実践・研究・教育分野において国内外で活躍できる人材を育成することにより、看護学の発展と人類の健康増進並びに福祉に貢献することを目的としています。

本学では4年間の学部生活の間に学生が科学的考え方を身につけ、人への配慮ができる看護専門職に育つための教育を行っています。卒業生の中には本学大学院修士課程に進み、看護学教育・研究者への道を歩む者もいます。



入学定員及び現員

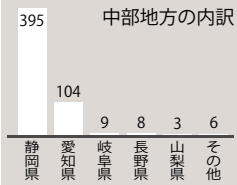
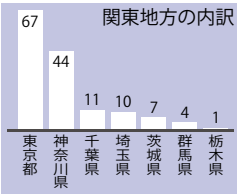
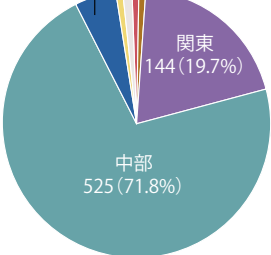
学 科		現員	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
医 学 科	入学定員 120(5)	男	74	81 (3)	84 (5)	81 (4)	75 (3)	82 (2)	477 (17)
	収容定員 715(25)	女	43	45 (2)	43 (1)	39 (1)	47 (2)	37 (3)	254 (9)
		合計	117	126 (5)	127 (6)	120 (5)	122 (5)	119 (5)	731 (26)
看護学科	入学定員 70(10)	男	1	3	6 (1)	4 (1)			14 (2)
	収容定員 260(20)	女	65	65	58 (9)	62 (8)			250 (17)
		合計	66	68	64 (10)	66 (9)			264 (19)

医学科の()内は、第2年次編入学を内数で示す
看護学科の()内は、第3年次編入学を内数で示す

平成27年5月1日現在

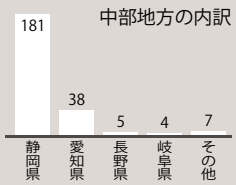
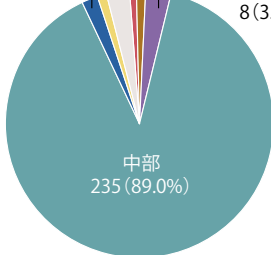
医学科地域別在学生数割合

九州 8 (1.1%)
中国・四国 5 (0.7%)
近畿 36 (4.9%)
北海道・東北 6 (0.8%)
外国等 7 (1.0%)



看護学科地域別在学生数割合

九州 7 (2.7%)
中国・四国 3 (1.1%)
近畿 5 (1.9%)
北海道・東北 3 (1.1%)
外国等 3 (1.1%)



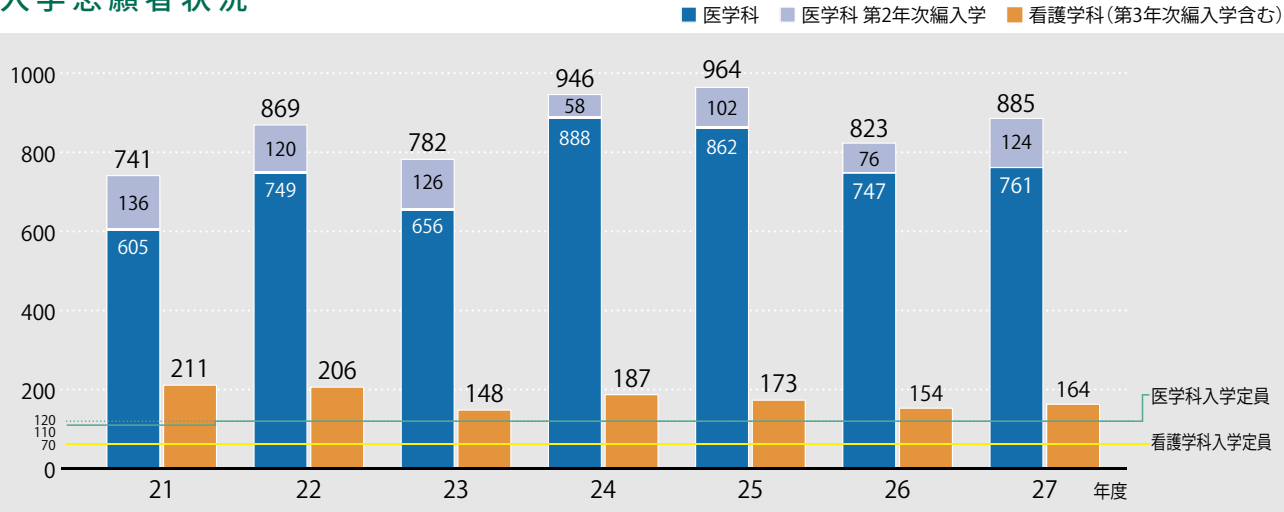
入学志願者及び入学者数

区 分	医 学 科						看 護 学 科					
	入 学 志 願 者			入 学 者			入 学 志 願 者			入 学 者		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
平成21年度	409 (88)	196 (48)	605 (136)	73 (2)	32 (3)	105 (5)	13 (1)	161 (36)	174 (37)	4 (0)	58 (10)	62 (10)
平成22年度	502 (89)	247 (31)	749 (120)	80 (4)	35 (1)	115 (5)	19 (0)	164 (23)	183 (23)	5 (0)	57 (10)	62 (10)
平成23年度	394 (85)	262 (41)	656 (126)	73 (3)	42 (2)	115 (5)	12 (1)	118 (17)	130 (18)	6 (1)	55 (9)	61 (10)
平成24年度	503 (33)	385 (25)	888 (58)	76 (3)	39 (2)	115 (5)	7 (2)	154 (24)	161 (26)	3 (1)	57 (9)	60 (10)
平成25年度	511 (65)	351 (37)	862 (102)	73 (4)	42 (1)	115 (5)	13 (2)	143 (15)	156 (17)	4 (1)	56 (9)	60 (10)
平成26年度	438 (50)	309 (26)	747 (76)	73 (4)	42 (1)	115 (5)	8 (1)	133 (12)	141 (13)	4 (1)	56 (8)	60 (9)
平成27年度	470 (91)	291 (33)	761 (124)	73 (3)	42 (2)	115 (5)	7 (1)	129 (27)	136 (28)	0 (1)	60 (9)	60 (10)

医学科の()内は、第2年次編入学を外数で示す
看護学科の()内は、第3年次編入学を外数で示す

平成27年5月1日現在

入学志願者状況



医学科入学定員は、平成21年度110名(編入生含む)、平成22年度から120名(編入生含む)

研究生数

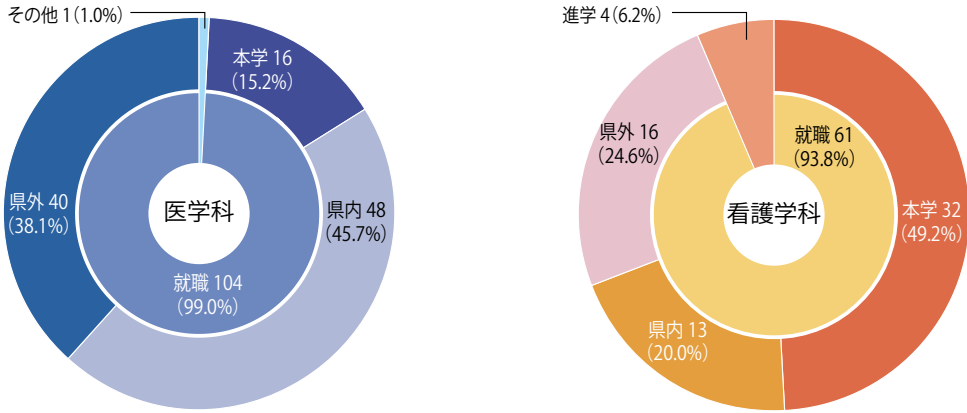
区 分	27 年 度
男	5
女	3
合 計	8

平成27年5月1日現在

卒業生数

区 分	医 学 科							看 護 学 科						
	S54~H21 年度計	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	合計	H10~H21 年度計	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	合計
男	2,251	66	76	67	75	73	2,608	36	4	1	5	5	5	56
女	817	31	26	26	25	32	957	788	65	67	67	61	60	1,108
合 計	3,068	97	102	93	100	105	3,565	824	69	68	72	66	65	1,164

平成26年度卒業生の進路状況



医師国家試験合格状況

区 分	新 卒			既 卒			総 数			全国順位
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	
第105回 2011	97	94	96.9	8	6	75.0	105	100	95.2	8
第106回 2012	102	100	98.0	3	3	100.0	105	103	98.1	2
第107回 2013	93	87	93.5	2	1	50.0	95	88	92.6	28
第108回 2014	100	99	99.0	7	6	85.7	107	105	98.1	6
第109回 2015	105	105	100.0	2	1	50.0	107	106	99.1	1

保健師・看護師国家試験合格状況（既卒者を含む）

区 分	保 健 師			区 分	看 護 師		
	受験者	合格者	合格率		受験者	合格者	合格率
第 97回 2011	69	67	97.1	第100回 2011	59	59	100.0
第 98回 2012	69	67	97.1	第101回 2012	58	58	100.0
第 99回 2013	73	72	98.6	第102回 2013	62	62	100.0
第100回 2014	66	63	95.5	第103回 2014	57	57	100.0
第101回 2015	66	66	100.0	第104回 2015	54	54	100.0

大学院医学系研究科

博士課程

大学院医学系研究科医学専攻（博士課程）は、国際的にリーダーシップを発揮できる基礎医学研究者と臨床研究医を養成することを目的としています。即ち、光先端医学を中心に幅広い専門分野の授業科目を履修することを基礎に、基礎研究者を目指す学生には高度の専門的知識と技術を身につけ、独創的な先端研究を遂行できる能力を養成します。

また、臨床研究医を目指す学生には、臨床研究を更に推進することができるような研究マインドを持ち、臨床の現場で広く求められる応用力を養成します。



修士課程

大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、これまで習得した専門的知識・技術を基盤に、科学的思考力、問題解決力、創造性と基本的な研究能力を養い、高度な実践能力と倫理観を備えた高度専門職業人、教育者及び研究者を養成します。

また、1年課程の助産学専攻科を廃止し、平成27年4月から修士課程に2年制の助産師養成コースを開設しました。修了後は、修士（看護学）の学位が授与され、助産師国家試験の受験資格が得られます。



入学定員及び現員

博士課程

区 分		現 員	1 年	2 年	3 年	4 年	合 計
光 先 端 医 学 専 攻	※入学定員 11	男	—	—	—	2	2
	※収容定員 44	女	—	—	—	3 (1)	3 (1)
		合計	—	—	—	5 (1)	5 (1)
高 次 機 能 医 学 専 攻	※入学定員 5	男	—	—	—	2 (1)	2 (1)
	※収容定員 20	女	—	—	—	0	0
		合計	—	—	—	2 (1)	2 (1)
病 態 医 学 専 攻	※入学定員 8	男	—	—	—	9 (1)	9 (1)
	※収容定員 32	女	—	—	—	3	3
		合計	—	—	—	12 (1)	12 (1)
予 防 ・ 防 御 医 学 専 攻	※入学定員 6	男	—	—	0	2	2
	※収容定員 24	女	—	—	1	3 (1)	4 (1)
		合計	—	—	1	5 (1)	6 (1)
医 学 専 攻	入学定員 30	男	31 (2)	26 (1)	24 (3)	24	105 (6)
	収容定員 120	女	6	7	12 (1)	6	31 (1)
		合計	37 (2)	33 (1)	36 (4)	30	136 (7)

（ ）内は10月入学を内数で示す ※は平成23年度以前の定員を示す

平成27年5月1日現在

修士課程

区 分		現 員	1 年	2 年	合 計
看 護 学 専 攻	入学定員 16	男	1	7 (4)	8 (4)
	収容定員 32	女	15	26 (13)	41 (13)
		合計	16	33 (17)	49 (17)

（ ）内は平成25年以前入学の長期履修者を内数で示す

平成27年5月1日現在

国際交流

外国人留学生

国名	大学院		合計
	国費	私費	
中国	1	6	7
バングラデシュ		5	5
ベトナム	2		2
インド	1		1
合計	4	11	15

平成27年5月1日現在



第14回慶北-浜松合同医学シンポジウム
(平成26年9月)

国際交流協定・姉妹校

大学名等(国名)	締結年月日	協定等の内容
中国医科大学(中国)	1988. 4. 29	姉妹校協定
慶北大学校医科大学(韓国)	1992. 9. 7	学術交流協定
慶北大学校看護大学(韓国)	2005. 9. 23	
上海交通大学医学院(中国) (旧:上海第二医科大学)	2000. 3. 24	学術交流協定
フライブルク大学医学部 (ドイツ)	2003. 6. 30	学術交流協定
河南中医学院(中国)	2003.12. 8	学術交流協定
ビャウィストク医科大学 (ポーランド)	2004. 4. 19	学術交流協定
ダッカ大学(バングラデシュ)	2004.11.12	学術交流協定
シャジャラール科学技術大学 (バングラデシュ)	2004.11.12	学術交流協定
ボンゴボンデュ セイク ムシブ 医科大学(バングラデシュ)	2004.11.12	学術交流協定
广西医科大学(中国)	2004.11.21	学術交流協定
ワルシャワ医科大学(ポーランド)	2010. 4. 1	学術交流協定
ルブリン医科大学(ポーランド)	2010. 4. 5	学術交流協定
デュッセルドルフ大学(ドイツ)	2012. 8. 9	学術交流協定
ハワイ大学(アメリカ)	2012. 9. 6	学術交流協定
ヒッタイト大学(トルコ)	2013.12.17	学術交流協定

平成27年5月1日現在



外国人留学生実地見学施行(平成26年10月山梨・長野)



国際交流のつどい(平成27年3月)

国際交流会館の概要

区分	棟名	単身棟		世帯棟	
建築面積		206㎡		147㎡	
建物延面積		554㎡		567㎡	
室数	単身室 (14㎡)	20室	夫婦室 (40㎡)	6室	
	ミーティングルーム (19㎡)	1室	家族室 (59㎡)	4室	



国際交流会館

入学者数

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
博士課程(男)	21	22	21	25	24	25	29
〃(女)	12	4	11	7	11	8	5
合計	33	26	32	32	35	33	34
修士課程(男)	2	3	1	3	2	3	1
〃(女)	15	14	15	12	15	13	15
合計	17	17	16	15	17	16	16

平成27年5月1日現在

学位授与者数

区分	S58~H20 年度計	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
博士課程(医学)	550	28	27	26	24	28	22
論文博士(医学)	463	14	8	11	9	7	5
修士課程(看護学)	119	9	15	23	8	11	13
合計	1,132	51	50	60	41	46	40

研究生数

区分	27年度
男	28
女	4
合計	32

平成27年5月1日現在

助産師国家試験合格状況

区分	助産師		
	受験者	合格者	合格率
第95回 2012	15	15	100.0
第96回 2013	16	16	100.0
第97回 2014	16	16	100.0
第98回 2015	16	16	100.0



学内共同教育研究施設

保健管理センター

TEL (053) 435-2156, 2158

センター長 宮嶋 裕明

保健管理センターは学生と職員の健康を保持・増進するために、昭和60年に設置された。平成25年度に施設内部を全面改修し、医師・保健師・看護師・臨床心理士などを充実して、より一層プライバシーを尊重した環境で、“こころ”と“からだ”両面の相談が行えるようになった。学内外の関連部門・施設との連携もよい。健康診断とその事後措置だけでなく、学内の環境衛生の整備、感染症対策、保健管理に関する調査・研究にも力を入れている。



メディカルフォトリクス研究センター

TEL (053) 435-2390

センター長 養島 伸生
副センター長 間賀田 泰寛

【基盤光医学研究部門】

- ・光イメージング研究室 (2092)
- ・光ゲノム医学研究室 (2390)
- ・システム分子解剖学研究室 (2292)

【応用光医学研究部門】

- ・分子病態イメージング研究室 (2398)
- ・イノベーション光医学研究室 (2391)
- ・医学分光応用寄附研究室（浜松ホトリクス(株)寄附）(2235)

【生体光医学研究部門】

- ・生体機能イメージング研究室 (2466)
- ・生体医用光学研究室 (2329)



旧光子医学研究センターと旧分子イメージング先端研究センターの統合により、平成23年4月1日に設置された。光とイメージングを医学に応用する研究の遂行と人材育成を目的としている。光・分子イメージングによる生命現象の探究、イメージング法を活用した診断技術と臨床診断用標識薬剤の開発、オミックス手法を活用した疾患原因追究、光による腫瘍の治療法の開発・改良等、多様な先端的研究が、培養細胞、動物、ヒト個体を対象として進行中である。

動物実験施設

TEL (053) 435-2000

施設長 渡邊 裕司

昭和54年に設立された動物実験施設は、医学における基礎研究としての動物実験の場と動物実験に関する専門的知識を研究者に提供するとともに、実験動物学の授業や卒業論文研究を通じて教育にも貢献している。さらに、ヒト疾患モデル動物としての突然変異マウスを独自の作出方法を用いて開発し、研究者へ提供することにより実験動物科学としての一分野を推進している。最近ではコモンマウスモセットの育種及び繁殖に力を注ぎ、学内利用の推進を図っている。



実験実習機器センター

TEL (053) 435-2300

センター長 福田 敦夫

実験実習機器センターは平成16年の法人化に伴い現在の形に改組された。本センターは中央機器分析室とRI施設、研究棟各階にある多様な共同実験室で構成されている。本センターは、日進月歩の生命科学研究に対応した、次世代DNAシーケンサー、高精度質量分析装置、各種イメージング装置、走査型電子顕微鏡等の多数の先端機器を有し、専門知識と技術を持った職員がこれらの研究機器による受託解析等を行い、本学のエデュケーション支援を担っている。



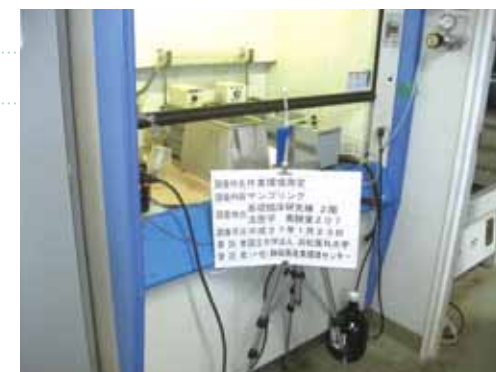
安全衛生管理センター

TEL (053) 435-2187

センター長 鈴木 修

安全衛生管理センターは平成15年4月に設置され、安全衛生管理に関する全学的事項を企画・立案するとともに、教育・研究に伴って発生するおそれのある環境汚染、健康障害、事故及び災害に対する安全衛生管理の徹底を図ることを目的としている。

主な取組としては、労働安全衛生法等に基づく作業環境測定、学内巡視、局所排気装置の自主点検、薬品調査等並びに職場における労働者の安全と健康の促進、快適な職場環境の確保のための5S活動等がある。



医療廃棄物処理センター

TEL (053) 435-2159

センター長 藤本 忠蔵

医療廃棄物処理センターでは、大学の研究室や病院から排出される廃水を活性汚泥や活性炭吸着などで適正に処理し、水質の分析を行ってから下水道に放流している。また、廃溶剤、廃酸、不要になった薬剤や実験器具などを回収し、適切な処理方法により分類してから廃棄物処理業者に処分を委託している。さらに、教職員・学生に対して、大学での廃水や医療系も含む廃棄物全般について分別処理方法の指導を行っている。



情報基盤センター

TEL (053) 435-2182

センター長 谷 重喜

情報基盤センターは、学内のネットワーク、メールサーバ、大学HPなど各種基幹サーバ、情報系実習室など、大学の情報基盤を提供、運営している。学内随所に無線LANのスポットが設置され、情報系実習室では教師と学生の双方向の画面提示や操作が可能となっている。今後も時代を先取りする情報基盤を提供していく。



子どものこころの発達研究センター TEL (053) 435-2331 センター長 森 則夫

浜松医科大学、大阪大学、金沢大学、千葉大学、福井大学に設置された「子どものこころの発達研究センター」は、わが国における最高水準の子ども研究・教育・支援機関として発展を遂げている。本センターの目的は、知る－『子どものこころの危機』の背景を探り、育む－『こころの危機』をもつ子どもたちを支える実践的手法を開拓するとともに、5大学の連合小児発達学研究科（連合大学院）の教育活動を通じて＜子どものこころの専門家＞を育成することにある。



産学官共同研究センター TEL (053) 435-2438 センター長 山本 清二

ものづくり地域「浜松」の技術力と産業開発力に「医療・医学」のシーズ・ニーズを加え「健康・医療産業」を創出・確立していく事業である、JST地域産学官共同研究拠点整備事業「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」の中核施設として平成23年4月に設置された。サイクロトロン棟、PET-CT棟からなり、産学官共用設備を持つ。学内の研究用MRI、CT、動物用PETも管理し、小動物からヒトまでを対象としたイメージング装置を備えたユニークな施設である。対外的には産学官・医工連携のワンストップ窓口として活発に活動している。



医学教育推進センター TEL (053) 435-2843 センター長 梅村 和夫

医学教育推進センターは、本学の教育に関する諸活動を体系的に行い、教育の質の向上を図ることを目的に、平成24年4月に設置された。主な活動として、教育システム及びカリキュラム、PBL・チュートリアル教育、共用試験（CBT, OSCE）及びAdvanced OSCE、参加型臨床実習等に関する調査、研究、実施及び評価を行っている。

さらに、それらを横断的に統括し、より良いカリキュラムを構築するための活動をしている。また、教育学の理論に基づいたカリキュラム改革を進め、医学教育に関する最新情報の発信基地として位置づけられている。



附属図書館

附属図書館は、本学の学術情報基盤の一部であり、印刷資料や電子ジャーナル・各種データベース、そして本学の学術成果物を電子的に蓄積し、広く学外へ発信する学術機関リポジトリを設置・運用するなど、電子図書館的機能を強化しています。

また、これらの学術情報資源を十分に活用できるよう、学生・教職員対象の情報リテラシー教育支援を行う等、知的創造活動の拠点としての機能も担っています。平成25年4月からはラーニング・コモンズを開設して、多様な学習スタイルのニーズに応じた学習空間を提供しています。

さらには、近隣医療従事者への資料の貸出、県内外の病院等と連携した文献複写提供サービスなど、地域へのサービスにも務めています。

開館時間

平日 9:00～20:00
土・日曜 10:00～17:00

本学構成員は、24時間入館可能な特別利用制度を利用できます。

貴重資料

明治11～12年に浜松医学校教官らが米国の医学書を翻訳出版した『七科約説』



利用状況

区 分		学内者(人)	学外者(人)	合 計(人)
入 館 者 数	開館時間内	77,796	2,980	80,776
	開館時間外	37,201	479	37,680
	合 計	114,997	3,459	118,456

区分	図書(冊)	雑誌(冊)	視聴覚資料(点)
貸出数	6,182	435	124

区分	受付数(件)	依頼数(件)
文献複写	2,681	2,194

平成26年度

蔵書数

区分	和	洋	合計
図書	59,427冊	31,967冊	91,394冊
雑誌	1,209種	1,075種	2,284種
視聴覚資料	1,230点		1,230点
電子書籍	90タイトル	39タイトル	129タイトル

平成27年3月31日現在

資料受入数

区分	和	洋	合計
図書	1,949冊	169冊	2,118冊
雑誌	393種	87種	480種
視聴覚資料	57点		57点
電子ジャーナル	6,955種		6,955種
電子書籍	10タイトル	4タイトル	14タイトル

平成26年度



2階ラーニング・コモンズ



1階ラーニング・コモンズ AV視聴コーナー



1階ラーニング・コモンズ

地域・社会貢献

浜松医科大学では、教育、研究に次いで、社会貢献を第三の重要な事業活動と位置づけ、これに対する取組を進めています。医科大学としての社会貢献の第一は、附属病院における医療活動です。外来診療、入院治療、救急処置、検査等、多数の活動をしています。地域社会に対する様々な支援事業が第二の活動で、相談会や市民・中高生に対する各種講座を開催するなどしています。第三の活動として、大学の中で考案された新しい技術を実際に使えるものとして企業に移転したり、専門能力を生かして企業の事業化を支援したり、共同研究をしたりする産学官連携事業があります。

社会貢献事業への支援

本学における社会貢献活動を推進するため、教員等による活動実績に対して支援を行っています。平成26年度は「地域教育に対する活動」10件、「地域医療や公衆衛生に貢献する社会活動」11件を採択しました。

地域教育に対する活動

活動名	対象	担当
ひらめき☆ときめきサイエンス「感じてみよう体のふしぎ」	高校生	基礎看護学講座
がんの子どものトータルケア研究会静岡	がんの子どもとその家族、小児がん治療に関わる医療者及び支援者	小児科
輸血と細胞医療に関する医学の紹介	中学生、高校生	輸血・細胞治療部
静岡県こどもの精神保健フォーラム	こどもの精神保健に携わる医療従事者	精神医学講座
親子で学ぶ医学セミナー	小学生	臨床医学教育学講座
「看護倫理」(仮)の公開講演会	浜松医科大学医学部附属病院看護師、地域医療従事者	基礎看護学講座
市民公開講座「腎臓を守って健康寿命No.1」	一般市民	第一内科
名古屋市科学館「話題の科学」展	小中学生、一般市民	生物学講座
生物が見る世界 ～いくつかの目といくつかの世界～サマー・サイエンスキャンプ	高校生	生物学講座
アフリカツメガエルの中身を知り、カエルの発生を観察しよう	小中学生	医化学講座

平成26年度

地域医療や公衆衛生に貢献する社会活動

活動名	対象	担当
第19回日本看護研究学会東海地方会学術集会	東海地域の大学教員	地域看護学講座
さんぽ会の活動助成	在宅にて医療的ケアを必要とする子どもと家族、知的障害を含む発達に障害のある子どもと家族	臨床看護学講座
浜松市における高齢模擬患者育成と看護教育における高齢者―看護学生相互交流	地域高齢者、看護学生	地域看護学講座
静岡リウマチネットワーク	関節リウマチ患者	第三内科
自治体等への保健活動・調査支援講座	静岡県内で地域保健又は産業保健活動に取り組み、保健活動・調査の技術向上に関心のある自治体、事業所等	健康社会医学講座
中部圏支部一般検査研修会	臨床検査技師	感染症学講座(ウイルス・寄生虫学分野)
幼児の攻撃性発露メカニズムの解明とその予防を目指して―Hamamatsu Birth Cohortに基づいた活動―	浜松医科大学医学部附属病院と近隣の産院で出産した母親とその児	子どものこころの発達研究センター
乳幼児の食習慣と攻撃性をめぐる地域連携システムの確立	浜松医科大学医学部附属病院と近隣の産院で生まれた乳幼児	子どものこころの発達研究センター
自閉症スペクトラム診断装置の検討と研究成果の還元―Ka-o-TVを用いて―	地域の親子	子どものこころの発達研究センター
熱中症予防の講演	雄踏町小中学校教員及び保護者	医生理学講座
県西部材料部連絡協議会	県西部地域病院材料部代表者	材料部

平成26年度

産学官連携活動

日々の教育・研究・診療の中から生まれる多くの研究シーズ、知的財産、ノウハウ、暗黙知等を「知」という大切な財産であると考えます。この「知」を他大学や民間機関等と連携して社会に還元していく産学官連携活動を積極的に進めています。

活動名	連携相手先	担当
レーザー血栓溶解治療システムの開発	企業(浜松市)、他医療機関	薬理学講座
マイクロニードルのデリバリシステム構築	企業(浜松市)	皮膚科学講座
指接着型の胎児パルスオキシメーターの開発	企業(県外)、他大学	産婦人科学講座
次世代害虫駆除装置の開発	企業(県外)	総合人間科学講座(生物学)
乳児における斜頭症・絶壁頭の防止用具の研究開発	企業(浜松市)	助産学専攻科
テラヘルツ波臨床応用に関する共同研究	企業(県外)	メディカルフォトニクス研究センター
インテリジェント内視鏡手術ナビゲーションシステムの実用化開発と臨床研究	企業(浜松市 他)、他機関	メディカルフォトニクス研究センター
低侵襲内視鏡および顕微鏡手術支援3D超音波診断装置の開発	企業(浜松市 他)	メディカルフォトニクス研究センター
精神的価値が成長する感性イノベーション拠点	企業(浜松市 他)、他大学	メディカルフォトニクス研究センター
新しい低侵襲微細手術を実現する直視・側視・斜視切換型高画質立体内視鏡の開発と実用性検証	企業(浜松市 他)、他大学	メディカルフォトニクス研究センター
凍結治療装置の実用化開発	企業(県外)	放射線部
乳癌診断のための光マンモグラフィの開発と臨床評価	企業(浜松市)	放射線科、乳腺外科
1枚のレントゲン写真を用いた股関節臼蓋被覆の3次元評価システム試作	企業(浜松市)	整形外科
石英ガラスを用いて接触観察を可能とした処置用消化管内視鏡の開発	企業(浜松市)	光学医療診療部
医療器具の保全・管理作業支援システム構築プロジェクト	企業(浜松市)	材料部
酸化オスミウム(VIII)廃液のリサイクル技術の構築	企業(浜松市)	医療廃棄物処理センター
PAI-1阻害に基づく造血幹細胞移植での造血機能改善薬の開発	企業(県外)	探索的臨床研究部
メディカルフォトニクスを基盤とする医工連携拠点モデル	企業(浜松市)、他機関	産学官共同研究センター
メディカルフォトニクスを基盤とする国産医療機器創出促進基盤整備等事業	企業(浜松市 他)、他機関	産学官共同研究センター

平成26年度

公開講座

平成26年度公開講座「健康のために知っておきたい話－医療における最新の話題－」が全3回(平成26年7月19日、8月2日、8月9日)にわたり開催され、毎回100名以上の受講者が熱心に聴講されました。

本公開講座は昭和54年から毎年開催しており、平成26年度で第36回目となりました。今後も地域の皆様のご期待に添えるような公開講座を開講し、大学の重要な使命の1つとして求められている地域社会への貢献に努めていきたいと考えています。



医学部附属病院

病院の
理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を育成する。

基本方針

- 1. 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 2. 社会・地域医療への貢献
- 3. 良質な医療人の育成
- 4. 高度な医療の追求
- 5. 健全な病院運営の確立

医療機関の指定状況等

法 令 等 の 名 称	許可機関名	指定等の年月日
医療法による開設許可(承認)	厚生労働省	昭和52年 3月29日
健康保健法による保険医療機関	厚生労働省	昭和52年11月15日
国民健康保険法による保険医療機関	厚生労働省	昭和52年11月15日
老人福祉法による医療機関	厚生労働省	昭和52年11月25日
母子保健法による妊娠乳児健康診断	静岡県ほか一部の地方自治体	昭和53年 2月 1日
障害者自立支援法による自立支援医療(育成医療)	静岡県	昭和53年 4月 1日
障害者自立支援法による自立支援医療(更生医療)	静岡県	昭和53年 4月 1日
戦傷病者特別援護法による医療機関	厚生労働省	昭和53年 4月 1日
生活保護法による医療機関	厚生労働省	昭和53年 5月 1日
障害者自立支援法による自立支援医療(精神通院医療)	静岡県	昭和53年 7月 1日
母子保健法による養育医療	厚生労働省	昭和53年 7月22日
労災補償法による医療機関	静岡労働基準局	昭和53年 8月 1日
原爆医療法による一般医療	静岡県	昭和54年 2月 1日
トトロラスト沈着症に対する定期検診の指定医療機関	静岡県	昭和54年 8月 1日
臨床修練指定病院(外国人医師・外国人歯科医師)	厚生労働省	昭和63年 3月29日
消防法による救急医療(救急病院)	静岡県	平成 4年 2月12日
特定機能病院の名称承認	厚生労働省	平成 7年 3月 1日
エイズ治療の拠点病院	静岡県	平成 8年 3月19日
地域災害拠点病院	静岡県	平成 8年12月26日
結核指定医療機関	厚生労働省	平成10年 6月 2日
地域周産母子医療センターの指定	静岡県	平成10年10月 1日
開放型病院	厚生労働省	平成17年 5月 1日
地域がん診療連携拠点病院	厚生労働省	平成19年 1月31日
難病医療拠点病院	静岡県	平成19年 4月 1日
治験拠点医療機関	厚生労働省	平成19年 7月 2日
静岡県肝疾患診療連携拠点病院	静岡県	平成21年 3月 9日
静岡DMAT指定病院	静岡県	平成24年 3月 1日



医学部附属病院(病床数613床)

看護体系

区 分	看護配置等	届出年月日
一般病棟	特定機能病院 入院基本料 7:1	平成21年 5月 1日
精神病棟	特定機能病院 入院基本料 13:1 看護補助加算2(50:1)	平成23年 7月 1日

先進医療承認一覧

先進医療の名称	算定開始年月日
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	平成19年 6月 1日
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	平成23年 3月 1日
単純疱疹ウイルス感染症又は水痘帯状疱疹ウイルス感染迅速診断(リアルタイムPCR法)	平成23年11月 1日
EBウイルス感染症迅速診断	平成24年 2月 1日
神経変性疾患の遺伝子診断	平成24年 7月 1日
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による 骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	平成24年 9月 1日
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	平成25年 1月 1日
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	平成25年11月 1日
S-1内服投与、オキサリプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う初発の胃がん	平成26年 8月 1日

平成27年4月1日現在

探索的臨床研究施設 TEL(053)435-2006

部長 梅村 和夫

平成14年3月に医学部附属病院に併設された臨床研究
専門施設として設立されました。この施設では、早期探索的
臨床試験、POC試験、臨床第1相試験、医師主導治験(第1
相試験)などを行っています。なお、本施設は、浜松ホトニクス
株式会社の寄附により発足しました。

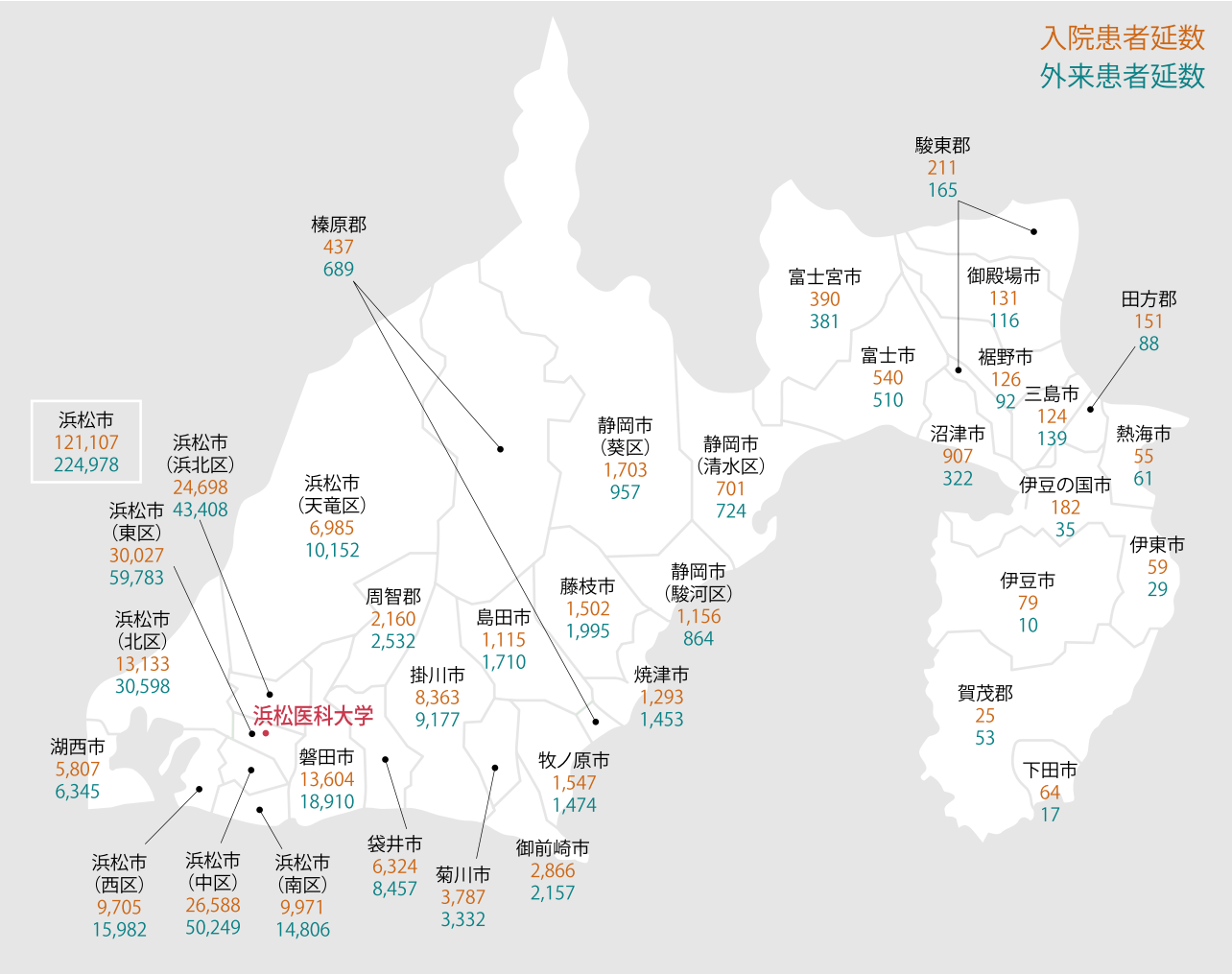


診療科別患者数

診 療 科		入 院 患 者		外 来 患 者	
		延 数	1日平均	延 数	1日平均
第一内科	消化器内科	8,957	24.5	11,037	45.2
	腎臓内科	4,463	12.2	6,105	25.0
	神経内科	3,309	9.1	3,268	13.4
第二内科	内分泌・代謝内科	3,067	8.4	20,992	86.0
	呼吸器内科	10,644	29.2	12,094	49.6
	肝臓内科	3,598	9.9	7,497	30.7
第三内科	循環器内科	7,589	20.8	12,637	51.8
	血液内科	10,723	29.4	8,379	34.3
	免疫・リウマチ内科	1,541	4.2	4,614	18.9
精神科神経科		13,273	36.4	19,259	78.9
小児科		13,252	36.3	15,802	64.8
第一外科	心臓血管外科	6,521	17.9	2,655	10.9
	呼吸器外科	3,315	9.1	1,757	7.2
	乳腺外科	1,114	3.1	5,566	22.8
	一般外科	1,916	5.2	1,522	6.2
第二外科	上部消化管外科	4,726	12.9	5,019	20.6
	下部消化管外科	4,392	12.0	4,142	17.0
	肝・胆・膵外科	4,772	13.1	2,396	9.8
	血管外科	3,961	10.9	4,154	17.0
脳神経外科		9,689	26.5	7,779	31.9
整形外科		16,573	45.4	21,700	88.9
皮膚科		3,456	9.5	20,453	83.8
泌尿器科		8,126	22.3	15,414	63.2
眼科		5,680	15.6	17,701	72.5
耳鼻咽喉科		10,997	30.1	18,991	77.8
産科婦人科		12,518	34.3	16,009	65.6
放射線科		770	2.1	6,393	26.2
麻酔科蘇生科		73	0.2	2,686	11.0
歯科口腔外科		2,797	7.7	10,998	45.1
リハビリテーション科		—	—	3,875	15.9
形成外科		5,252	14.4	5,779	23.7
臨床薬理内科		104	0.3	661	2.7
小児外科		302	0.8	891	3.7
救急部		1,472	4.0	3,499	14.3
合 計		188,942	517.6	301,724	1236.6

平成26年度

静岡県内入院・外来患者延数



平成26年度

都道府県別来院状況

都 道 府 県	入院患者延数	外来患者延数	都 道 府 県	入院患者延数	外来患者延数	都 道 府 県	入院患者延数	外来患者延数
北 海 道	66	8	石 川 県	0	4	岡 山 県	18	13
青 森 県	8	19	福 井 県	3	7	広 島 県	35	24
岩 手 県	6	12	山 梨 県	30	48	山 口 県	14	2
宮 城 県	8	6	長 野 県	119	94	徳 島 県	0	1
秋 田 県	2	5	岐 阜 県	185	206	香 川 県	0	0
山 形 県	26	22	静 岡 県	176,516	287,772	愛 媛 県	3	5
福 島 県	77	20	愛 知 県	9,536	11,434	高 知 県	37	8
茨 城 県	6	15	三 重 県	274	186	福 岡 県	98	22
栃 木 県	18	26	滋 賀 県	0	43	佐 賀 県	8	62
群 馬 県	6	19	京 都 府	142	78	長 崎 県	0	6
埼 玉 県	233	124	大 阪 府	146	113	熊 本 県	0	2
千 葉 県	92	89	兵 庫 県	20	52	大 分 県	0	1
東 京 都	755	721	奈 良 県	0	24	宮 崎 県	12	10
神 奈 川 県	344	360	和 歌 山 県	16	21	鹿 児 島 県	52	9
新 潟 県	31	18	鳥 取 県	0	8	沖 縄 県	0	5
富 山 県	0	0	島 根 県	0	0	合 計	188,942	301,724

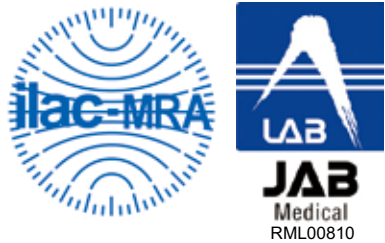
平成26年度

臨床検査件数（院内検査）						
検査項目	一般検査	血液学的検査	生化学的検査	病理学的検査	生理機能検査	採血・採液等
件数	105,204	343,988	2,436,806	14,059	175,513	86,016
検査項目	内分泌学的検査	免疫学的検査	微生物学的検査	内視鏡検査	その他	合計
件数	66,658	313,273	29,686	10,472	42,326	3,624,001

平成26年度

浜松医科大学医学部附属病院検査部は、国際規格『臨床検査室－品質と能力に関する要求事項』である、ISO 15189の技術的要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていると認定されています。

右は、認定された臨床検査室の検査報告書が相互承認に基づき、世界に通用することを証明するシンボルマークです。



手術件数及び麻酔件数					
手術件数	6,039				
	うち内視鏡手術 720				
麻酔件数	全身麻酔	局所麻酔	脊椎・硬膜外麻酔	その他	合計
	4,075	1,622	301	41	6,039

平成26年度

病理解剖件数				
区分	男	女	合計	
死亡患者数	187	107	294	
病理解剖件数	14	4	18	
剖検率（％）	7.5	3.7	6.1	
受託解剖件数	3	1	4	

平成26年度

X線撮影及び透視件数						
区分		X線直接撮影	X線透視	CT	MRI	合計
患者数	入院	38,607	2,083	7,657	2,638	50,985
	外来	34,805	3,787	12,877	7,114	58,583
	合計	73,412	5,870	20,534	9,752	109,568

平成26年度

分娩件数								
区分	正常出生体重児（人）	低出生体重児（人）					巨大児（人）	合計（人）
		500g未満	500g～1,000g未満	1,000g～1,500g未満	1,500g～2,000g未満	2,500g未満	4,000g以上	
経膈分娩	444	3	4		10	44	3	508
吸引分娩	61					2		63
鉗子分娩								0
予定帝王切開	97		2		1	18		118
緊急帝王切開	29	3	6	10	8	19	3	78
計（総分娩件数）	631	6	12	10	19	83	6	767
死産（内数）		4	1					5

平成26年度

薬剤件数				
調剤薬			注射薬	
院内外来処方箋	院外処方箋	入院処方箋	外来注射箋	入院注射箋
4,806	157,012	127,273	51,301	153,944

平成26年度

救 急 患 者 数						
来 院 原 因 別						合 計
疾 病	傷 病				妊 娠	
	事 故			小 計		
	交 通	中 毒	そ の 他			
5,841	411	82	1,163	1,656	694	8,191

平成26年度



シミュレーションセンター



ドクターヘリを利用した医療活動

外部資金受入れ状況

科学研究費補助金		
研究種目	件数	交付額(単位:千円)
新学術領域研究	7	86,580 (19,980)
基盤研究(A)	1	15,600 (3,600)
基盤研究(B)	22	112,970 (26,070)
基盤研究(C)	111	180,791 (41,721)
挑戦的萌芽研究	30	49,140 (11,340)
若手研究(S)	0	0 (0)
若手研究(A)	1	8,840 (2,040)
若手研究(B)	48	70,200 (16,200)
研究活動スタート支援	1	1,300 (300)
特別研究員奨励費	2	2,990 (690)
奨励研究	6	3,100 (0)
合計	229	531,511 (121,941)

()は間接経費を内数で示す
平成26年度
年度中の研究者の異動及び経費の繰越承認に伴う増減は含まない

厚生労働科学研究費補助金	
件数	金額(単位:千円)
5	66,827 (14,319)

()は間接経費を内数で示す
平成26年度
年度中の研究者の異動及び経費の繰越承認に伴う増減は含まない

奨学寄附金		
区分	件数	金額(単位:千円)
一般	535	462,633
助成金	28	90,259
合計	563	552,892

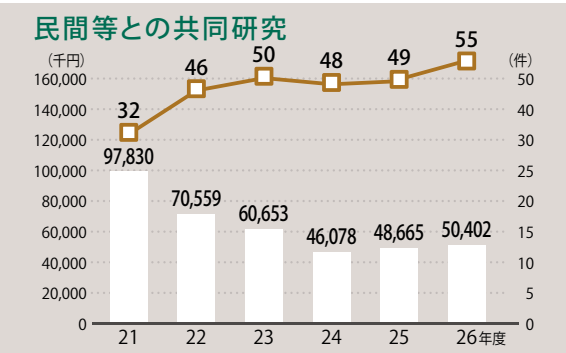
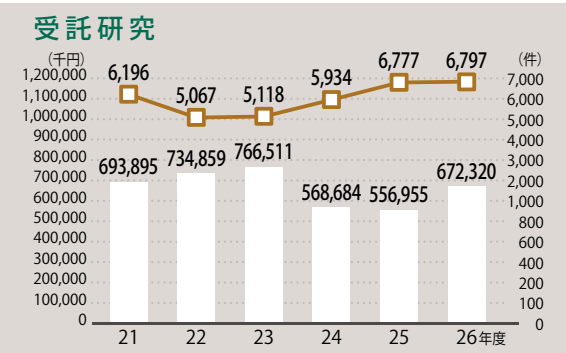
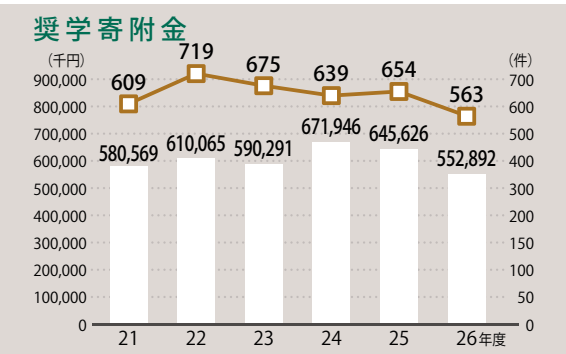
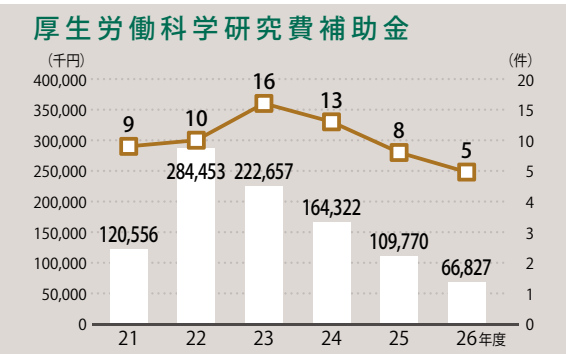
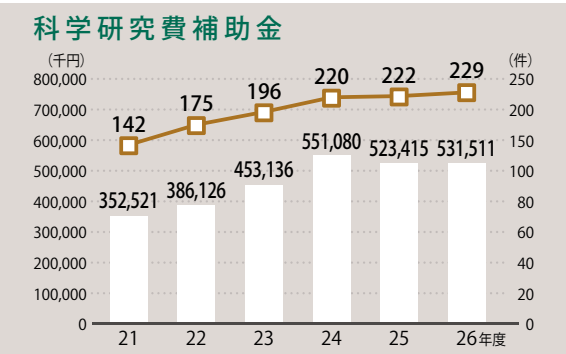
平成26年度

受託研究		
区分	件数	金額(単位:千円)
一般	70	501,288
治験	250	132,020
病理組織検査	6,477	39,012
合計	6,797	672,320

平成26年度

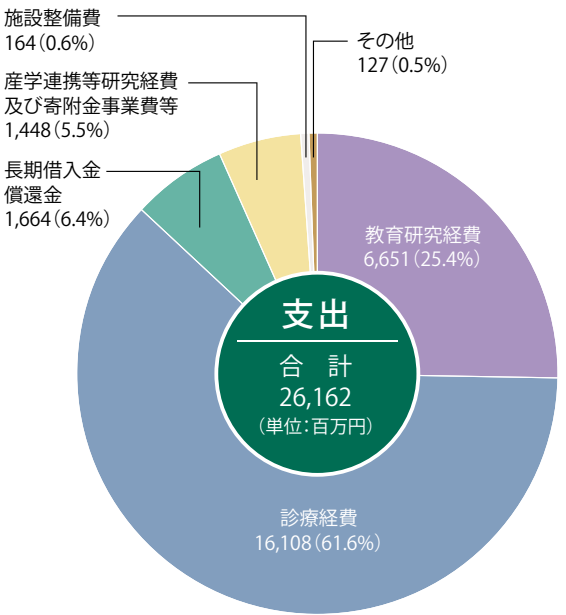
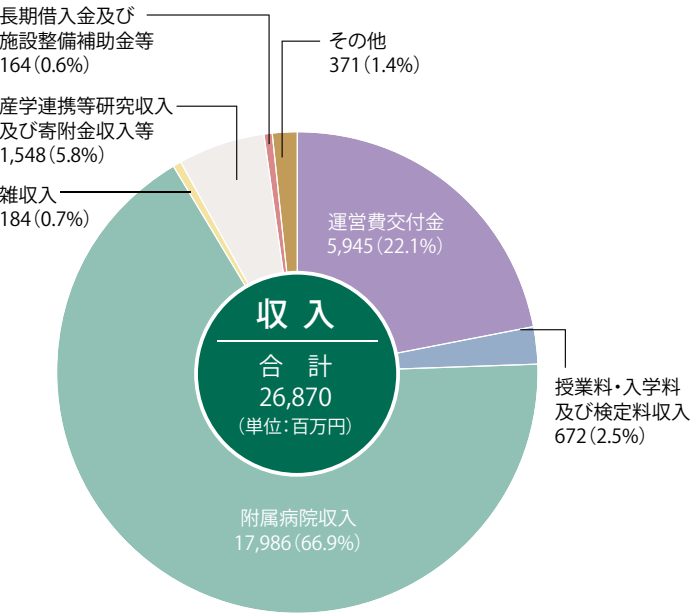
民間等との共同研究	
件数	金額(単位:千円)
55	50,402

共同研究員費を含む
平成26年度



財務、土地及び建物

平成26年度決算額



土地及び建物

区分	土地 (㎡)	建物 (㎡)		備考
		建面積	延面積	
本部		10,056	22,556	管理棟、職員会館、福利施設棟、体育館、課外活動施設棟、エネルギーセンター、武道館、附属図書館、国際交流会館、弓道場、保育所、立体駐車場(職員用)、その他
医学部		7,955	37,491	講義実習棟、基礎臨床研究棟、基礎臨床研究棟別館、臨床講義棟、RI動物実験施設、看護学科棟、メディカルフォトリクス研究センター、その他
附属病院	265,206	16,316	75,991	附属病院、MRI-CT装置棟、中央診療棟、PET-CT棟、立体駐車場(患者用)、サイクロトン棟、その他
看護師宿舍		1,419	5,526	医大舟岡山宿舍 2棟 129戸 〔構造RC-規格a 94戸 構造RC-規格b 35戸〕
職員宿舍(二)		897	3,313	医大半田山宿舍 3棟 60戸 〔構造RC-規格c 10戸 構造RC-規格b 50戸〕
職員宿舍(一)	35,408	3,845	13,753	医大宿舍 11棟 198戸 〔構造RC-規格c 188戸 構造RC-規格b 10戸〕
佐鳴台宿舍(一)	365	106	106	学長宿舍 1棟 1戸(構造W-規格e)
佐鳴台宿舍(二)	707	207	207	副学長宿舍 1棟 1戸(構造W-規格e)
三ヶ日艇庫	502	114	114	副学長宿舍・事務局長宿舍 2棟 2戸(構造W-規格e)
合計	302,188	40,915	159,057	艇庫

平成27年5月1日現在

配置図



施設名称

① 管理棟(事務局)	⑮ 体育館
② 附属病院	⑯ 武道館
③ 臨床講義棟	⑰ 弓道場
④ 探索的臨床研究施設	⑱ プール
⑤ 産学官共同研究センター PET-CT棟	⑲ テニスコート
⑥ 看護学科棟	⑳ サッカー・ラグビーグラウンド
⑦ 基礎臨床研究棟別館	㉑ 野球場
⑧ 基礎臨床研究棟	㉒ 医療廃棄物処理センター
⑨ 動物実験施設	㉓ 国際交流会館
⑩ 講義実習棟	㉔ 医大宿舍
⑪ 福利施設棟	㉕ 慰霊塔
⑫ 附属図書館	㉖ 医大舟岡山宿舍
⑬ メディカルフォトンクス研究センター	㉗ 医大半田山宿舍
⑭ 産学官共同研究センター サイクロترون棟	㉘ 半田山会館

関連教育病院

➡ 浜松医療センター

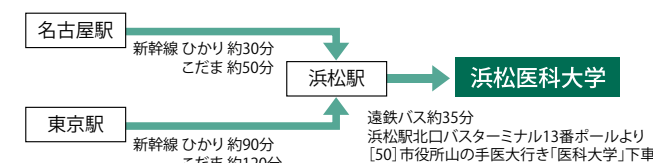
〒432-8580 浜松市中区富塚町328番地

病床数／606床(一般600、感染症6)

案内図

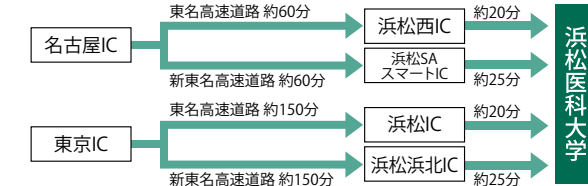


交通 [新幹線・バス]



※ひかりは一部のみ浜松駅停車

自動車





国立大学法人
浜松医科大学

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
TEL.053-435-2111 (代)
<http://www.hama-med.ac.jp/>



UNIVERSITY
ACCREDITED
March 2015

学校教育法第109条第2項の規定に基づき、
平成26年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構による
「大学機関別認証評価」を受審し、
「大学評価基準を満たしている」と認定されました。